



## 画像準備マニュアル

お手持ちの解析したい画像は、以下を参考に準備してみてください。

- 解析できる画像
- 1文字分であること
  - 画像容量は4Mまで
  - 画像形式はjpg、jpeg、png、gif、bmpのみ
  - 筆跡が明瞭であること
  - 背景が均質であること

### 画像準備の流れ

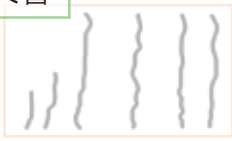
〈必ずお願いしたいこと〉

① 1文字分にトリミング

② 画像容量確認

③ 保存形式確認

古文書

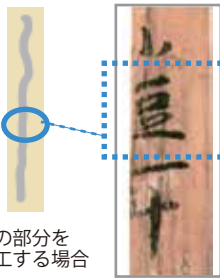


(4Mまで)

(jpg、jpeg、png、gif、bmpのみ)

ファイル名変更で拡張子を変えるだけでなく、画像編集ソフトで形式を変更し、保存し直してください。

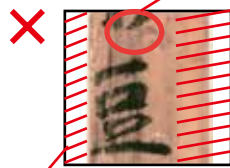
木簡



この部分を加工する場合

注意!

上下の文字が入らないように



なるべく不要な背景は入らないように

余白が入らないように



〈解析の精度を上げるために〉

④ 背景を消す



消しゴムツール  
あるいは  
ペン・ブラシ  
ツール (白色)

背景の色をなるべく残さないようにする



〈さらに解析の精度を上げるために〉

⑤ 階調変更

⑥ 背景や筆跡を調整する

モノクロ2階調に



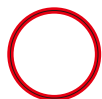
ペン・ブラシ  
ツール (黒色)

背景を除去したり、割れや汚損、虫損によって途切れている筆跡を書き足します。



グレースケールの状態で、白と黒の割合を調整してから二階調に変更すると背景の黒色が少なくなります。

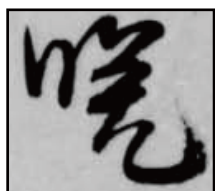
完成、解析へ



### 解析しやすい画像の例



(木簡)



(古文書)



筆跡がわかりやすい、背景の色が均質、墨線以外の黒色（汚れなど）がない。



### 解析しにくい、解析できない画像の例



1文字分ではない



余白がある



他の文字の一部が入っている



背景の色にムラがある



筆跡が見えにくい



木目や汚損・虫損が目立つ



筆跡が割れている



筆跡が白抜き



白黒（階調）を反転させてください。

↑ 上記、① を参考にトリミングしてください。

↑ 上記、④～⑥ を参考に背景や筆跡を調整してください。



以上を参考にしても、思うような結果が得られない場合は、以下の方法もお試ください。

アウトラインを自分で描く



線の太さは実際の太さ（見た目）に近づける

ペンツールなどでまねして書き取る

あるいは

実際の白紙に、太めのペンでまねして書き取ったものを撮影